

第13回平和祈念事業アドバイザーボード議事要旨

1 日 時：平成26年2月24日（月）14：00～16：30

2 場 所：新宿住友ビル47階 スカイルームNo.4
新宿区西新宿2-6-1

3 出席者：（委員）

◎ 亀井 昭宏（早稲田大学名誉教授）

○ 杉浦 力（財団法人能率増進研究開発センター元理事長）

黒沢 文貴（東京女子大学現代教養学部国際社会学科国際関係専攻教授）

田久保忠衛（杏林大学名誉教授）

堀川 末子（弁護士）

水嶋 英治（筑波大学図書館情報メディア系教授）

[敬称略、◎は座長、○は座長代理]

（総務省）

田家 修 官房審議官

加瀬 徳幸 管理室長

磯崎 肇 企画官

4 議事次第

（1）資料館視察

改修状況、企画展「従軍カメラマンの記録 小柳次一写真展」

（2）「平成25年度平和祈念事業実施結果（見込み）報告」及び「平成22年10月からの業務実績」の説明

（3）「平成26年度平和祈念展示資料館運営業務について（案）」の説明

5 議事要旨

（1）資料館視察

資料館を視察し、改修状況、企画展及び運営状況等について説明が行われた。

（2）「平成25年度平和祈念事業実施結果（見込み）報告」及び「平成22年10月からの業務実績」の説明

資料に基づき、事業者から説明が行われた。

委員の主な発言等は以下のとおり。

- 事業全体について、基金の時から資料館を見てきたが、この3年半、いかに見せて訴えていくかというところに、非常に民間の力を感じた。
 - 資料館のアンケートコーナー付近にある「ご意見ノート」に書かれた意見は、常設展示や企画展示等の分析などに使用できる幅広い情報源となる。もっと活用してほしい。
 - 展示改修について、基金の時から比べると、非常によくなっている。来館者のアンケート結果や運営側の意見等を反映していると思うが、そのような意見は、この先も引き継いでもらいたい。
 - 資料館のノベルティには、工夫、迫力もあり、アイデアに優れたものがあって、非常によかった。
- (3) 「平成26年度平和祈念展示資料館運営業務について(案)」の説明資料に基づき、事務局から説明後、意見交換が行われた。
委員の主な発言等は以下のとおり。
- 語り部活動について、学校派遣などは良い機会であるのに、辞めてしまうのは残念である。色々難しいところがあると思うが、語り部も養成したので、広く活用してもらいたい。
 - 総合情報データベースの公開について、どこまで公開するのかは、きちんと議論して検討をした方がよい。